

Camponotus herculeanus

(Linnaeus, 1758)

カラフトクロオオアリ

北方の針葉樹林にすむ寒さに強い黒い大型種で、古い切り株や立ち木に巣を刻みます。



写真：Philipp Hoenle (myrmecophil), CC0 1.0

ひと目でわかる情報



巣の温度

18–25 °C

巣の中



巣の湿度

50–60 %

巣の中



休眠

5–8 °C

10月–3月



結婚飛行

5月–6月

暑い日, 湿度が高い日



働きアリ

6–11 mm

大型働きアリは最大13 mm



女王

14–17 mm

女王は1匹



コロニーの規模

働きアリ5,000匹規模

成長速度：普通



脱走リスク

中程度

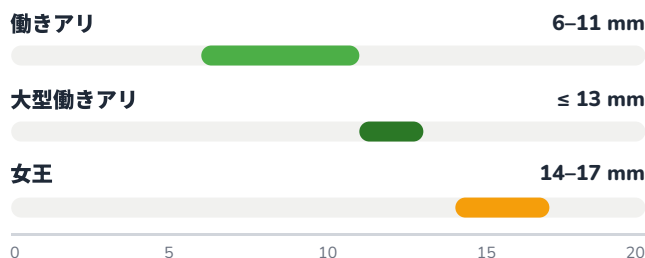
アウトワールドに脱走防止の対策をしましょう

1年をひと目で



月は温帯ヨーロッパと地中海地域の目安です。正確な日は天気で決まるため、お住まいの地域では飛行が早まったり遅れたりすることがあります。

同じ縮尺での大きさ



飼育の早見表

食べ物

砂糖

昆虫

おすすめの巣

- Ytongの巣
- 木製の巣
- 自然再現型のセットアップ

この評価の理由

- ✓ 完全閉鎖型：最初の働きアリが現れるまで、女王に餌は不要です
- ⚠ 好奇心が強い働きアリなので、アウトワールドに脱走防止の対策をしましょう
- ⚠ 冷蔵庫などでの低温の休眠が必要です

飼育者からのメモ

ヒント

巣は涼しめに保ち、片端の下にヒートケーブルを置くなど、小さな暖かい場所だけを加えましょう。コロニーはブルードを自分で暖かい場所へ移します。この北方の種には、一定の加温は必要ありません。

注意

木製の巣は乾きやすいので注意してください。ある飼育者は、乾いた木製の巣の中でコロニーの成長が止まり、ブルードを食べてしまったため、1シーズンを丸ごと失いました。木製の巣にはすべて、湿った部屋か給水源を用意しましょう。